

... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \*

北海道バイオマス・メールマガジン 第11号

[2007.11.21 発行] 北海道バイオマスネットワーク会議

\* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \*

\*\*\*\*\*

<<もくじ>>

- 「石狩バイオマスネットワーク研究会シンポジウム」開催のお知らせ
  - 「農林水産省における資源・環境施策に関する説明会」開催のお知らせ
  - 「バイオマスシンポジウム in 網走」開催のお知らせ
  - 「釧路地域バイオマス研修会」開催のお知らせ
  - 「第2回北海道バイオマス発見活用協議会」開催のお知らせ
  - 「平成19年度環境セミナー(改正食品リサイクル法・改正容器包装リサイクル法セミナー同時開催)」開催のお知らせ
  - 「第3回不法投棄対策工学講座セミナー」開催のお知らせ
  - 「リサイクル事業人材育成セミナー」開催のお知らせ
  - 「中小企業リサイクルアドバイザー派遣事業」のご案内
- 事務局だより  
読者のみなさまからの情報をお待ちしています  
編集後記

\*\*\*\*\*

「石狩バイオマスネットワーク研究会シンポジウム」開催のお知らせ  
平成17年度に石狩支庁管内におけるバイオマスの利活用を促進するため、排出者や関係事業者など産学官からなる「石狩バイオマスネットワーク研究会」を設立し、石狩地域の特色を踏まえたバイオマスの有効活用の方策や普及などの調査検討等を行ってきました。

この度、本研究会の3年間の研究・事業成果を発表し、バイオマス利活用の普及啓発に資するためシンポジウムを開催しますので、ぜひご参加ください！

詳細につきましては、ホームページをご覧ください。  
( <http://www.ishikari.pref.hokkaido.lg.jp/ts/kks/index.htm> )

日 時：平成19年12月6日(木)11:00～17:00  
場 所：北海道大学 学术交流会館（札幌市北区北8条西5丁目）  
主 催：石狩バイオマスネットワーク研究会  
後 援：北海道バイオマスネットワーク会議 / 北海道バイオマス発見活用協議会  
定 員：200名  
参加費：無料  
内 容：  
展示：パネル・ポスター等展示（11:00～）  
開会挨拶：石狩バイオマスネットワーク研究会  
会長 古市 徹 氏（北海道大学大学院工学研究科 教授）

各グループ研究成果報告(第一部) (13:05~14:50)

地域事業化検討部会 部会長 町村 均 氏

- ・ グランドデザイングループ 館山 留男 氏 ( (株)ドーコン 農業部技師長 )
- ・ 生ごみ資源化グループ 中木 秀一 氏  
( (株)奥村組関西支社環境プロジェクト部技術部長 )
- ・ B D F グループ 嶋貫 久雄 氏  
( (株)アレフ エコプロジェクト室長 )

エネルギー検討部会 部会長 谷川 昇 氏

- ・ 新エネルギーグループ 秋山 敏幸 氏  
(北海道電力(株) 事業推進部総合エネルギー事業G.L)
- ・ 木質系バイオマスグループ 大橋 弘士 氏 ( (株)エコニクス 技術顧問 )
- ・ 資源作物グループ 山下 和則 氏  
( (株)エコニクス 環境技術研究所長 )

パネルディスカッション(第二部) (15:00~17:00)

テーマ 「石狩地域のバイオマスをグランドデザインする！」

コーディネーター 川嶋 幸治 氏 (北海道環境生活部循環型社会推進課 主幹)

パネラー 町村 均 氏 ( (株)町村農場 代表取締役 )  
谷川 昇 氏 (北海道大学大学院工学研究科 准教授 )  
石井 一英 氏 (北海道大学大学院工学研究科 助教 )  
洞口 恒明 氏 ( (株)スワンマネジメント社 取締役 )  
江頭 恵一 氏 ( (株)大建設札幌事務所 環境設計部長 )  
加賀 美穂 氏 (NPO法人 北海道UR総合研究所 理事長 )

申込方法：11月30日(金)までに下記項目を事務局宛てFAX又は電話にてお申し込み  
ください。

1)お名前 2)ご所属 3)ご連絡先(電話番号等)

申 込 先：〒060-8588 札幌市中央区北3条西7丁目 北海道庁別館4階

<事務局> 北海道石狩支庁地域振興部環境生活課地域環境係

TEL 011-231-4111(内線34-371) FAX 011-232-1156

「農林水産省における資源・環境施策に関する説明会」開催のお知らせ

バイオマスの利活用は、地球温暖化防止のみならず、地域の活性化や雇用につながる  
とともに、農林水産業の新たな領域を開拓するものであります。

また、地球温暖化の進行による農業生産への影響が懸念されるなど、地域環境問題は  
農林水産業と密接に関連しています。

農林水産省として、北海道洞爺湖サミットの開催に向けて、これら資源・環境対策に  
積極的に取り組んでいるところです。

このたび、北海道開発局、農林水産省が共催し、生産者、企業、消費者など幅広い  
関係者に対し、バイオマスの利活用の推進、地球温暖化対策、「美しい森林づくり推進  
国民運動」の展開、生物多様性保全対策など農林水産省における資源・環境施策に関する  
説明会を開催いたしますので、ぜひご参加ください。

傍聴等につきましては、下記までお問い合わせください。

日 時：平成19年12月12日(水)14:00～16:00

場 所：札幌市男女共同参画センター ホール  
(札幌市北区北8条西3丁目エルプラザ)

内 容：(1)施策に関する説明(農林水産省技術総括審議官ほか担当幹部)

バイオマス利活用の推進

- ・バイオマスタウン構築の推進について
- ・ソフトセルロース利活用技術確立事業等のH20年度概算要求

農林水産省戦略等

- ・農林水産省地球温暖化対策総合戦略
- ・美しい森林づくり推進国民運動
- ・農林水産省生物多様性戦略

(2)質疑応答

問合先：北海道開発局開発経理部開発調査課

農林水産担当：三野・高橋

TEL：011-709-2311(内線5445)

「バイオマスシンポジウムin網走」開催のお知らせ

北海道開発局では、今年度「バイオガス多角的利用に関する地産地消モデル構築調査」を行っています。本調査は、バイオマスの利活用促進及び地球温暖化防止等の観点から、家畜排せつ物由来のバイオガスをトラクタの燃料や住宅等へ多角的に利用するシステムを確立し、「エネルギー地産地消」の地域モデルを構築することを目的としています。当該調査の一環として、下記のとおり「バイオマスシンポジウムin網走」を開催します。

テーマ：バイオガス利用システムの導入と地域活性化

日 時：平成19年11月29日(木)

10:00～12:00 視察会

13:00～16:00 シンポジウム

場 所：網走セントラルホテル 2階鳳凰(大ホール)

網走市南2条西3丁目

定 員：シンポジウム200名、視察会40名

参加料：無料

主 催：農林水産省、国土交通省北海道開発局

後 援：北海道経済産業局(予定)、北海道運輸局、北海道地方環境事務所、北海道、  
網走市

内 容：

視察会

北海道開発局では、家畜排せつ物から発生するバイオガスを精製しトラクタの燃料として使用する実証試験を行っており、その関連装置等の見学とバイオガスで走行するバスへの試乗を行います。

シンポジウム：

#### 基調講演

「バイオマスを利用した循環型社会の構築と普及対策」

筑波大学名誉教授・国際農業工学会事務局長 前川孝昭氏

#### 事例発表

・「インターファームにおけるバイオガス利用の取り組み」

日本ハム(株)執行役員食肉事業本部国内食肉生産事業部長 福原邦彦氏

・「バイオガスの地産地消とトラクタ開発」

北海道大学大学院農学研究院生物資源生産学部門生物生産工学教授 野口伸氏

・「バイオガス燃料による市バス運行の取り組み」

神戸市建設局下水道河川部工務課長 竹中恭三氏

参加申込：北海道開発局ホームページから参加申込書をダウンロードしてお申し込み  
ください。 <http://www.hkd.mlit.go.jp/event/071129bio.pdf>

問合せ：国土交通省北海道開発局開発監理部開発調査課 産業開発第2係  
011-709-2311（内線5566）

#### 「釧路地域バイオマス研修会」開催のお知らせ

日本全国津々浦々に眠る未利用のバイオマスを発見し、その利活用による地域活性化を  
目的とした「バイオマス発見活用促進事業」が今年度から全国で始まりました。北海道  
地域でも「北海道バイオマス発見活用協議会」を立ち上げ、農業者、消費者、事業者など  
の皆さんとともに、各地域に眠るバイオマスの掘り起こしを行いたいと考えています。

今回の釧路研修会では、釧路地域でのバイオマスの取り組み、道内の先進的な取り組み  
事例をもとに、皆様とのディスカッションを中心とした研修会を開催したいと思っています。  
ぜひ、ご参加ください。

日 時：平成19年12月20日（木） 13:00～17:00

場 所：釧路市交流プラザさいわい（釧路市幸町9丁目1番地）

主 催：北海道バイオマス発見活用協議会

協 力（予定）：北海道庁、北海道農政事務所、北海道開発局、北海道経済産業局  
釧路市、土幌町、新エネルギー・産業技術総合開発機構

定 員：120名

参加費：無料

内 容：

主催者挨拶<<バイオマスタウンの紹介>>

基調講演

「地域に眠るバイオマス ～イカゴロ、タコゴロからバイオガス～」

帯広畜産大学教授 梅津一孝氏

事例発表

・「土幌町の政策と成果」

土幌町長 小林康雄氏

・「農業から変えるバイオガス利用」

農業組合法人 菊池利治氏（予定）

## パネルディスカッション

パネリスト 帯広畜産大学教授 梅津一孝氏  
土幌町 町長 小林康雄氏  
農事組合法人 菊池利治氏（予定）  
日本総合研究所 赤石和幸氏

コーディネーター NPO 法人あうるず 菊池貞雄氏

問合せ先：北海道バイオマス発見活用協議会

【事務局】株式会社日本総合研究所 創発戦略センター

担当：安納 TEL：03-3288-4985

NPO 法人あうるず 担当：菊池 TEL：0155-67-6305

「第2回北海道バイオマス発見活用協議会」開催のお知らせ

北海道バイオマス発見活用協議会では、この度第2回協議会の開催の運びとなりました。会員の皆様のご参加をお待ち申し上げております。

会員登録につきましては事務局までお問合せください。

日 時：平成19年12月12日（水） 16:00～18:00

場 所：札幌アспенホテル（札幌市北区北8条4丁目5番地）

内 容：道内の市町村アンケート、事業者アンケート結果の報告  
研修会、シンポジウム実施計画、等

問合せ先：北海道バイオマス発見活用協議会

【事務局】株式会社日本総合研究所 創発戦略センター

担当：安納 TEL：03-3288-4985

<http://hokkaido-biomass.jp/>

「平成19年度環境セミナー(改正食品リサイクル法・改正容器包装リサイクル法セミナー 同時開催)」開催のお知らせ

食品関連事業者等を対象とする食品リサイクル法は、平成19年6月に改正され、現在は、12月1日の施行を目指して政省令及び基本方針の改正案が検討されています。

容器包装リサイクル法も循環型社会の構築を目指して、平成7年に制定され平成18年6月にはその一部を改正する法律が成立・公布され、平成18年12月、平成19年4月、平成20年4月と3段階に分かれ施行されることになりました。

こういった状況を踏まえて、その方向性や改正点、食品関連事業者の担う役割等について解説するセミナーを開催いたします。

是非ご参加いただきたく、ここにご案内申し上げます。

詳細につきましては、(財)食品産業センターのホームページをご覧ください。

( [http://www.shokusan.or.jp/index.php?mo=topics&ac=TopicsDetail&topics\\_id=279](http://www.shokusan.or.jp/index.php?mo=topics&ac=TopicsDetail&topics_id=279) )

日 時：平成19年11月29日(木)

場 所：ホテルポールスター札幌

内 容：改正食品リサイクル法の概要（13:40～14:50）

(講演) 尾崎 卓也 氏

(農林水産省総合食料局食品産業企画課食品環境対策室食品リサイクル指導係長)  
容器包装リサイクル法制度の現状と課題(14:50 ~ 16:00)

中井 義兼 氏

(財)食品産業センター 環境・システム部次長)

問合先：財団法人 食品産業センター

技術部 / 環境・システム部

TEL : 03-3224-2380、2390

FAX : 03-3224-2398

〒 107-0052 東京都港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル

「第3回不法投棄対策工学講座セミナー」開催のお知らせ

本セミナーは、国、道、市等の関係者から、各々が実際に取り組んでいる廃棄物の不法投棄対策を撲滅して循環型共生社会を創るために、まず、何が問題かを議論する場として、北海道大学大学院工学研究科不法投棄対策工学講座により、次のとおり開催されます。

今回が3回目となります。ぜひ、ご参加ください！

題 目：物流管理から見た最終処分場のリスク管理(仮)

日 時：平成 19 年 11 月 30 日(金) 14:00 ~ 17:10

場 所：北海道大学学術交流会館 小講堂(札幌市北区北8条西5丁目)

内 容：

開会挨拶：北海道大学大学院工学研究科 不法投棄対策工学講座  
客員教授 西 則雄 氏

基調講演(14:10 ~ 15:50)

- ・日本産業廃棄物処理振興センター センター長 三本木 徹 氏
- ・(財)産業廃棄物処理事業振興財団 適正処理推進部 次長 山脇 敦 氏
- ・(株)大林組 部長 峠 和男 氏
- ・北海道大学大学院工学研究科 不法投棄対策工学講座 助教 金 相烈

パネルディスカッション(16:00 ~ 17:00)

- ・基調講演者(4人)

閉会挨拶：北海道大学大学院工学研究科 循環計画システム研究室  
教授 古市 徹 氏

参加費：無料

懇親会： ・時間 17:30 ~

・場所 ホテルダイナスティ(札幌市北区北10条西3丁目)

・会費 4,000円程度予定

申込方法：準備の都合上、11月26日(月)までに、FAXにて、ご連絡をお願いします。

なお、電子メールで、ご連絡いただける場合には、

ides@kanri-cr.eng.hokudai.ac.jp までお願いします。

問合先：北海道大学大学院工学研究科 不法投棄対策工学講座

TEL:011-706-7581 FAX:011-706-7583

E-mail : ides@kanri-er.eng.hokudai.ac.jp

「リサイクル事業人材育成セミナー」開催のお知らせ

道では、循環型社会形成の推進に不可欠であるリサイクル産業の振興を図るため、リサイクル製品製造の事業化を計画している中小企業等を対象として、人材育成のためのセミナーを開催します。

このセミナーは、昨年10月から導入している「循環資源利用促進税」の税収を財源として開催するもので、廃棄物を循環資源として有効利用し、リサイクル製品を製造・販売する際のノウハウを、2日間で効率的に習得していただけるようカリキュラムを組んでいますので、ぜひご参加ください！

日 時：平成19年12月17日(月) 9:30～16:00

18日(火) 9:30～17:00

場 所：かでの2・7 730 研修室(札幌市中央区北2条西7丁目)

札幌市リサイクル団地内施設(札幌市東区中沼町45番地)

12月18日13時に、借上げバスで札幌市リサイクル団地へ移動します。

主 催：北海道

対象者： リサイクル製品の製造に新たに取り組むことを計画(予定)している

産業廃棄物処理業者、製造業者、建設業者など

リサイクル製品を製造している事業者で、新製品の製造など新たな事業

展開を計画(予定)している事業者

定 員：40名

受講料：無料

内 容：

12月17日(月) 午前 9:30～12:00

講義 「環境法令の仕組みとコンプライアンス」

講師 中小企業リサイクルアドバイザー

北海道ペットボトルリサイクル(株) 取締役 尾崎 耕策 氏

制度説明 ～北海道リサイクル製品認定制度等の紹介

12月17日(月) 午後1:00～4:00

講義 「リサイクル製品のマーケティング」

講師 小樽商科大学大学院商学研究科 教授 山本 充 氏

制度説明 ～・(財)北海道中小企業総合支援センターによる支援制度

・北海道立工業試験場による技術支援

・循環資源利用促進税事業の紹介

12月18日(火) 午前 9:30～12:00

講義 「リサイクル製品製造にかかる諸課題と実践」

講師 中小企業リサイクルアドバイザー

(有)ブレーション&ビジネス 代表取締役 平野 陽子 氏

12月18日(火) 午後1:00～5:00(バス移動)

講義 (工場視察・質疑応答)

・「ペットボトルリサイクルの展開について」

講師 北海道ペットボトルリサイクル(株) 札幌工場長 佐藤 祐輔 氏

・「ペットボトルリサイクルの用途開発について」

講師 ポリテック(株) 札幌工場長 土井 治 氏

助言者 中小企業リサイクルアドバイザー

(有) プレーン&ビジネス 代表取締役 平野 陽子 氏

申込方法：北海道のホームページから受講申込書をダウンロードして、12月13日(木)までに下記あて郵便、FAX、電子メールでお申し込みください。

( [http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/jss/top\\_page/seminartop.htm](http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/jss/top_page/seminartop.htm) )

申 込 先：北海道環境生活部環境局循環型社会推進課循環推進グループ 担当：山岸  
〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目  
TEL 011-231-4111 (内線24 - 318) FAX 011-232-4970  
E-mail : yamagishi.mutsumi@pref.hokkaido.lg.jp

「中小企業リサイクルアドバイザー派遣事業」のご案内

道では、環境への負荷が少ない持続的な発展が可能な循環型社会の早期実現を図るため、昨年10月から導入している「循環資源利用促進税」の税収を財源として、専門のアドバイザーを中小企業に派遣し、中小企業が取り組む産業廃棄物のリサイクルに係る新技術・新製品の開発、生産工程の改善などについて、課題の解決に向けた指導・助言を行う『中小企業リサイクルアドバイザー派遣事業』を実施しています。

詳しくは、道のホームページをご覧ください。

( <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/jss/junkanzei-ad-main.htm> )

<事業の概要>

研究開発

産業廃棄物の再資源化や有効利用のための技術的な助言

リサイクル製品等の生産・加工技術の向上、デザイン・設計技術

産業廃棄物の再資源化や有効利用を進める上で必要な環境保全技術に関する助言  
技術協力・技術提携支援

大学・試験研究機関・支援機関との連携に関する助言

技術パートナー(企業等)に関する助言など

事業化支援

リサイクル製品等の販売計画、市場調査など事業の具体化に関する助言など

<問い合わせ先>

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

北海道環境生活部環境局循環型社会推進課(道庁本庁舎12階)

循環推進グループ(循環税担当)

TEL : 011-231-4111 FAX : 011-232-4970

E-mail : kansei.kanhai1@pref.hokkaido.lg.jp

\*\*\*\*\*



## 事務局だより

読者のみなさまからの情報をお待ちしています

バイオマスに関する取り組みや情報などを、このメールマガジンでご紹介させていただきますので、情報を事務局までお寄せください。内容・字数は問いません。

### 編集後記

前回、お知らせしましたとおり、10月18日(木)、19日(金)に道庁赤レンガ前で、新米、野菜、花、コラーゲンを原料とした食品などの販売をとおして、食品リサイクルの取り組みをPRしました。

来場者へのアンケートでは、食品リサイクルの認知度は半分くらいでしたが、今後も、このようなPRを続けた方が良いとの回答が圧倒的に多かったです。また、これらの商品を取り扱っている販売店の情報が欲しいとの要望も数多くありました。

今回のような取り組みは初めてでしたが、特に食品リサイクルの場合、肥料、飼料などよりも、身近な食品を通じて、消費者にPRしていくことが重要であることを再認識した次第です。

ちなみに、我々職員も商品を購入いたしました。味・品質ともに大変好評で、聞くところによると、一部は本州やデパートで販売されているようです。我々道民が、もっと、このような商品の価値を見だし、身近に購入することができればと思いました。

さて、来月から、いよいよ改正食品リサイクル法が施行されます。農林水産業が盛んな本道だからこそ、本州に負けないくらいの取り組みができるのではないのでしょうか。

### 登録変更・解除について

配信登録の内容変更(送信先メールアドレスの変更など)や配信登録の解除につきましては、お手数ですが、事務局まで「変更の内容」や「登録解除」の旨をお知らせください。

このメールマガジンは、「北海道バイオマスネットワーク会議」事務局(北海道環境生活部環境局循環型社会推進課循環推進グループ)で配信しています。

\*\*\*\*\*  
\*〒060-8588札幌市中央区北3条西6丁目\*  
\*TEL:011-204-5197 FAX:011-232-4970\*  
\*Email: [kansei.kanhai1@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:kansei.kanhai1@pref.hokkaido.lg.jp)\*  
\*URL: [http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/jss/recycle\\_2/biomass/biomass\\_top.htm](http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/jss/recycle_2/biomass/biomass_top.htm)\*  
\*\*\*\*\*